

協力隊ライフ

vol.1

「安芸高田市を元気にしたい」「何か役に立ちたい」
そんな想いを胸に、安芸高田市に飛び込んできた協力隊たち。
この町で何ができるか、町の未来を思いながら、今日もそれぞれの場所で活動中。
協力隊のリアルな日常と地域とのつながりを、ゆるっと紹介していきます！



NAGATO KAZUMI
長門 和美

伝統と耕作放棄地を
活用したまちづくり

安芸高田市に眠る物語を、もう一度

はじめまして！4月から安芸高田市で地域おこし協力隊として活動を始めた長門です。出身は廿日市市、自然やアート、伝統文化が大好きで、これまで絵を描いたり、自然由来のコスメを使ったメイクの仕事をしてきました。

昨年は、自分で育てた紅花から日本古来の口紅を作ることに挑戦！草木染めや糸紡ぎ、機織りなど、自然とものづくりをつなぐ活動も続けています。また、神楽にもご縁があり、これまで関東・東北で神楽舞を習い、地元廿日市では笛を担当してきました。

ここ安芸高田市では、かつて栽培されていた紅花やミツマタを活かして、和紙づくりや和紙面制作にチャレンジしていきたいと思っています。この土地に受け継がれる歴史や文化、人の力と手を取り合いながら、未来へつながるものを一緒に作っていったら嬉しいです。どうぞよろしくお願いいたします！

おしえて001/ 協力隊ってどんな人??

協力隊になったきっかけ

自然に囲まれた暮らしがしたくて、2021年頃から安芸高田市に興味を持ち、通ううちに地元農家さんにつながり、野菜づくりを学ぶようになりました。温かい人たちに会い、ゆっくりと流れる時間の中で過ごすうちに、この町がどんどん好きになっていったんです。そんな時に会ったのが、このミッションの募集。「私がこの町を好きになったように、今度は私の発信で誰かの心を動かせたら！」と思い、応募しました。



Instagramを活用した魅力発信
藤田 京花



2015年、技能実習生として安芸高田市・吉田町へ。言葉も文化もわからない中、不安や孤独を感じることもありましたが、地域の皆さんにたくさん助けていただき、本当に救われました。

そんな大切な場所に、今回また戻って来ることができとても嬉しいです。今度は私が外国人実習生の支援をする立場として、少しでも恩返しができるよう頑張ります！



ベトナム人コミュニティ構築
ホアングエン

安芸高田市との縁は、母方の実家がある高宮町。幼少期は川で魚を釣ったり、山を駆け回ったりと、ここは私にとって特別な「ふるさと」です。そんな体験を、子どもたちにも味わってほしい——そんな想いもあり、高宮に住むことを決めました。

これまで営業職を軸に、新規事業の立ち上げや経営にも携わってきた経験を活かし、安芸高田の事業者や起業を目指す方々の力になりたいと考えています。



事業継承・商工振興推進
岡本 康太郎



広島市で生まれ育った私にとって神楽は身近な存在で、10年前に初めて湯治村へ訪れた時、こんな神楽の聖地のような場所があるんだ！と衝撃を受けた記憶があります。それからは、神楽と湯治村のいちファンとして度々訪れるようになりました。地域おこし協力隊へ応募したきっかけは、神楽おたくである息子の「将来湯治村で働いてみたい！」という言葉。

前職の経験を活かしてコーヒーショップをしたいという私の想いと、息子の想いを掛け合わせて応募させていただきました。



神楽門前湯治村のテナント空き地活用

椎葉 寛



吉田高校の魅力化推進
下林 悠治

学生時代はイギリスに語学留学し、20代は通信業界で働くかたわら、趣味の映像制作でヨーロッパや東南アジアを巡っていました。2008年から自然豊かなアイルランドで暮らしていましたが、持続可能な農を実践しながら、地域に根差した暮らしがしたいと考えるように。その思いにぴったりだと感じたのが安芸高田市。ここで新しい暮らしをスタートさせました。

安芸高田市の乗馬クラブに通う中で、この土地の四季の豊かさや、人の温かさに惹かれていきました。春の若草、夏の勢い、秋の恵み、冬の静けさ——。都会では味わえない日常が、ここにはありました。そんな時、協力隊の現役・卒業隊員さんと出会い、「私にもできることがあるかも」と感じて応募を決意。9つのミッションの中から、地域の魅力を届ける「ふるさと納税推進」を選びました！



ふるさと納税推進
金廣 愛璃



向原高校の魅力発信・地域連携
松川 拓馬

自然が好きで、元々地方での暮らしに興味がありましたが、昨年度に向原高校の生徒と関わる中で、「もっと学校生活を楽しんでほしい」と強く感じ、安芸高田市への移住を決めました。中学生への向原高校の魅力発信だけでなく、生徒と日常的に関わる中で、「また明日も話そうかな」「高校生活楽しい！」と思えるよう、高校生活の魅力化に貢献したいと思っています！

生桑地区の地域振興
寺内 宏明

コロナ禍で古民家探しを始め、ご縁があって安芸高田市で農業バイトをするように。地域の人の温かさにふれ、「ここに住みたい」と思うようになりました。空き家探しに行き詰まっていたときに見つけたのが協力隊の募集。「これだ！」と即応募。今は自分のスキルが活かせるミッションに挑戦中です！



伝統と耕作放棄地を活用した町づくり
長門 和美

古より連綿と続いて来た伝統、既に途絶えてしまった伝統を蘇らせるようなことに興味があり、古き良き日本の美しさを再発見し、伝えて行きたい想いから協力隊に応募しました！

紅花の栽培や、ミツマタを使った和紙づくり、そして和紙面の制作。ここでなら、自分の想いをかたちにできると思い、チャレンジすることにしました。

